

たくさんの思い出をありがとう

3月19日 寿都小学校卒業式



Kouhou

寿都

-SUTTSU-

4

2021 April
No. 717

～みんなで作るう寿の都～

「寿都町の新しい未来に 向けたまちづくり」を目指して

令和3年度 町政執行方針

令和3年寿都町議会第1回定例会が3月2日から12日まで開会され、片岡春雄町長から令和3年度の町政執行方針、有田千尋教育長から教育行政執行方針が述べられました。

地方を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化、地方の衰退など社会構造が変化し、生産年齢人口の減少による人手不足が深刻化するなど、依然として厳しい状況に置かれております。

また、新型コロナウイルス感染症は、社会全般に大きな影響を与えており、感染拡大防止への対応と地域経済の活性化の両立に向けて、総力を挙げ対応しなければなりません。

引き続き、風力発電事業及びふるさと応援寄附金事業をはじめ、まちづくりに必要な財源確保に努め、地域経済の回復と活性化、創意工夫による地場

産業の発展、保健、医療、福祉、教育及び住環境の充実などを図るため、町民、議会、行政が連携して、町民一人ひとりが安心して健やかに暮らすことが出来るまちづくりを目指し、「みんなで作るう寿の都」をスローガンに、町民皆さまと共に全力で取り組んでまいります。



産業振興

漁業については、昨年、主要魚種の秋さけ漁が高水準でありましたが、他の魚種は前年度を下回っており、コロナ禍での需要低迷や市場価格の下落などが加わり、生産者や漁協の経営については極めて厳しい状況に置かれております。

このため、経営の立て直しに向けた経営戦略を後押しし、健全運営に必要な財政支援を行って生産者の負担軽減に繋げてまいります。

また、漁業生産の向上に向け、施肥事業による藻場再生や増養殖漁業の生産基盤の確立に向けた取り組みを推進するとともに、漁業の担い手対策については、本町漁業を持続させるための重要施策として位置付けており、引き続き漁業を志す若者に対し支援措置を講じて人材の確保・育成に努めてまいります。

第3種寿都漁港については、水産業の活性化を支える拠点として、南ふ頭の整備や衛生管理機能の充実を図りながら漁港整備に努めてまいります。



水産加工業については、地域経済の活性化と牽引役として貢献しており、ふるさと応援寄附金事業において引き続き寄附者の心に響く洗練された商品を提供できるよう各事業者と連携を強化してまいります。



農業・林業

については、主要作物の生産維持と品質向上のため、引き続き必要な支援を継続するとともに、通年での施設水耕栽培の実証を行い、製品の開発と遊休農地の先行取得により雇用創出と農村地域の活性化を図ってまいります。

また、計画的な路網及び森林整備に努め、有害鳥獣対策では、人材育成に必要な経費を助成し、駆除体制の安定・強化を図り、農家の生産安定と住民の安全・安心を確保してまいります。



観光

については、観光地域づくり推進のため、イベント開催などの事業を通じ、まちの知名度向上と活性化を図り、地域の元気創出に取り組んでまいります。

「寿都アンテナショップ」については、本町の食の魅力の発信や物産品の販売によるブランド力向上と適正な管理運営に努めるとともに、「寿都温泉ゆべつゆ」についても、町民の健康増進と魅力ある温泉施設として利用の増加に努めてまいります。



商業

については、町内での消費購買力の減少やコロナ禍で苦境に立たされるなど大きな課題に直面する中、個性ある店舗展開や消費者とのコミュニケーションを通じてのサービスの提供など、商店街の賑わいを創出し、商業振興を図ってまいります。

このため、「消費者還元プレミアム商品券発行事業」や「風太スタンプ事業」の強化支援などを通じ町民の生活支援と町内での消費喚起を支援してまいります。



風力発電

については、各種地域振興対策を推進するため、公営企業会計による健全経営と売電益の安定確保に向けた適正な維持管理に努めるとともに、浜中地区に新規風車2基を整備してまいります。また、洋上風力発電においても、関係町村などと連携し導入を推進してまいります。



労働者対策

については、季節労働者の通年雇用化を促進するため、南しりべし季節労働者通年雇用促進協議会との連携により、引き続き雇用の安定に努めてまいります。

また、就職支援対策として町内企業に「UIターン」により就職された方を対象に、「ふるさと就職促進奨励事業」に基づく支援を引き続き行ってまいります。

健康づくり・福祉分野

保健・福祉の充実 については、健康で長生き・認知症になりにくいまちづくりを目指し、各世代に応じた健康づくりを推進してまいります。

次世代においては、基本的な生活習慣を身につけるために、食生活や運動に着目した取り組みを引き続き関係機関と連携し推進してまいります。

働く世代においては、生活習慣病予防、特に糖尿病重症化予防を重点とし、各種健診の受診を勧奨していくとともに、食生活の改善や運動習慣の定着を引き続き強化してまいります。

高齢期においては、「第9次高齢者保健福祉計画」及び「第8期介護保険事業計画」に基づき、地域包括ケアと介護予防の推進を重点とし、一層保健・医療・福祉の連携を強化していくとともに、特別養護老人ホーム寿都寿海荘については、老朽化が進んでいることから、高齢者が安心して生活できる場として、建て替えに向けた実施設計を行ってまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の周知を引き続き徹底していくほか、ワクチン接種体制整備及び円滑な接種を行い、新型コロナウイルス感染症の蔓延及び重症化を予防してまいります。

医療分野

地域医療 については、国保直営診療施設に移行する診療所との連携により、予防を重視した保健事業の実施により医療費の適正化を推進するとともに、引き続き北海道と連携を密にして、国保会計の健全な財政運営に努めてまいります。

後期高齢者医療制度においても、被保険者の方々が安心して医療を受けられるよう、広域連合と連携し制度の安定運営に努めてまいります。



生活環境分野

快適な生活環境と住民サービス については、町民の良好な生活環境を保つため、じん芥処理やし尿処理事業の適切な運営と、公営企業会計となる簡易水道・公共下水道事業については、施設の適切な維持管理と会計の健全経営に努めてまいります。

公営住宅・住宅施策 については、長寿命化計画に基づき、適切な改修を進めながら維持管理を行ってまいります。

また、リフォーム事業や住宅取得に伴う奨励事業を引き続き推進してまいります。



空き建築物対策

については、旧寿都地方合同庁舎を移住者向けの住宅と消防機能を有した複合施設として、移住促進センターの整備を行ってまいります。

廃屋対策では、町民の生活環境の改善を図るため、引き続き建物の除却事業の促進に努めてまいります。



道路・河川事業

については、町道裁判所中学校通り線の未改良区間の整備の完成を目指すとともに、適切な維持管理を行ってまいります。

また、近年の集中豪雨に対応するため、河川整備を計画的に実施し、適切な維持管理を行ってまいります。



まちづくり振興分野

まちづくり振興

については、人口減少、少子高齢化などの地域が直面する構造的な課題に対し、さまざまな地域資源と地域の特性を生かした持続可能で活力ある地域社会をつくり上げるための仕組みづくりを追求しながら取り組みを展開してまいります。

特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律に基づき実施される文献調査にあたっては、「対話の場」を通じ、地層処分事業の技術・安全性を含む事業内容や文献調査の進捗状況、まちの将来ビジョンなどについて意見交換をしていただくとともに、町の将来を担う若い世代の方々の意見を聴く場を設けるなど、引き続き多くの町民が自主的、主体的に地域づくりに参画できる仕組みを構築してまいります。

防災対策については、防災備蓄品や停電対策として発電機を計画的に配備し、住民の安全・安心を図るとともに、防災訓練の実施により防災体制の確立に努めてまいります。



行財政分野

行財政改革

については、地域の特性を活かしながら、人材や財源などの経営資源の有効活用と自ら自立可能な戦略を策定し、個性豊かで活力ある町づくりと地域社会を実現するため、積極的な取り組みが求められています。

引き続き、きめ細やかな行政サービスの提供や地域の課題に効率的に対応できるよう行財政運営を図り、さらなる職員の意識改革と研修の充実を図ることにより、実務能力の向上と潜在能力の発揮とともに、政策能力の習得に努めてまいります。

町税

については、現年度課税分の収納向上を基本に徴収体制を強化し、未収入額の減少を図ってまいります。

また、滞納者に対しては、公平性の観点から北海道及び弁護士と連携し、財産調査等を行い滞納処分を実施してまいります。

教育行政執行方針

教育行政については、令和という新たな時代が始まり、教育をめぐる環境はさまざまな変容を遂げており、本町の教育理念の実現のため、第2次寿都町教育振興基本計画に基づき、感染症対策など新たな教育課題に立ち向かい学校教育、社会教育の確実な推進に努めてまいります。



教育分野

確かな学力の育成 については、子どもたち一人ひとりが、自立して生きていくためには、学力の基礎基本の定着と活用できる思考力、判断力、表現力、更には知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」が重要です。

小学校は令和2年度、中学校では令和3年度から新学習指導要領による教育活動が全面実施されます。このため、全国学力・学習状況調査を実施し、学びを深める授業改善と学習習慣の確立を進め、子どもたちの可能性を育む教育を推進してまいります。

また、小学校及び中学校で、引き続き、英語指導職員と外国人英語指導員による充実した外国語教育や「GIGAスクール構想」による小・中・高校のICT機器の整備を図ったことから、機器が有効に活用され、児童生徒が同じ教育環境のもとで授業改善が図られるよう環境整備を推進してまいります。

豊かな心の育成 については、思いやりの心や人と関わる力を育てるための道徳性を養い、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、多面的・多角的に深く考え、自己の生き方についての考えを深める道徳教育の充実を努めてまいります。

また、学校ボランティアの活用により、学校支援の充実を図り、本町にある地域資源を生かした体験活動を通じ、ライフスキル教育や社会でのルールやマナーなどの遵守意識、朝読書など読書環境を充実させ豊かな人間性を育ててまいります。



健やかな体の育成 については、子どもたちの体力向上に向けて、体力づくり運動など日常の継続的な取り組みを通して、運動習慣の確立にも取り組んでまいります。

食育センターでは、地場産品を活用した給食の提供に努めるとともに、衛生管理や食育指導を推進してまいります。

信頼される学校づくり については、地域の宝である子どもたちを育むため、引き続き学校運営協議会を設置し、地域とともに支えあう学校づくりに取り組んでまいります。

また、教職員の資質向上、小・中・高校のなめらかな接続のため、研究授業の実施や研修会へ積極的に参加するとともに、子ども一人ひとりの進路希望を実現することができるよう、町内小中高連携推進委員会を中心に各学校間の連携を深めてまいります。

寿都高校存続及び学力向上に向けて開設した公設民営塾では、寿都高校生や中学生一人ひとりのニーズに合わせた個別指導を行い、学力向上や意欲高揚に努めてまいります。

また、災害時や登下校中に自ら適切な行動が出来るよう、学校の危機管理マニュアルやSOSステーションの見直し、さらには本年度設置した寿都町通学路安全推進会議の協力を得ながら児童生徒の安全確保に努めてまいります。

さらに、組織的な学校運営に努め、「働き方改革行動計画」について効率的に取り組んでまいります。



家庭教育支援の充実 については、生きる力の基礎的な資質などを育成するため、教育の出発点である家庭での教育力を充実させ、子どもの成長の段階に配慮し、子どもが望ましい基本的な生活習慣を身につけられるよう、保育園などの関係機関と連携しながら、保護者が安心して子育てに取り組める家庭教育の支援をまいります。

活力あるコミュニティの形成 については、町民一人ひとりが故郷に誇りを持ち「わが町の未来のために、自ら活動する」という気概を持ち、小中高の一貫したキャリア教育を充実させ、地域での学びを地域に還元することができる子どもの育成に努めるとともに、放課後子ども教室や自然体験キャンプ等を開催し、学校支援サポーターを中心に子どもの生きる力や社会性、愛郷心を育み、次代を担うリーダーを育成してまいります。



生涯学習活動の支援 については、社会が大きく変化している中で、町民が生涯を通じて学ぶことができ、その成果を生涯を通じて活かすことができるよう、ウィズコムを拠点として、必要な知識や技術の習得ができ、町民のニーズに対応したウィズコムカレッジ等の学習機会を提供するとともに、学習成果を発揮できる環境を充実してまいります。

また、英語に親しみ、世代間の交流も含めた英語サロンを開催し、コミュニケーションの幅を広げ、語学の学習意欲向上に努めてまいります。



運動・健康づくりの推進 については、町民が、生涯にわたり健康で充実した生活を過ごすため、日常的な運動習慣の定着が必要であり、そのため、引き続き運動教室や各種スポーツ教室を開催するとともに、体育施設が充実し、個人や団体がそれぞれ楽しみながら運動が出来るよう、町民全体に運動意識を根付かせ、スポーツの振興と健康増進を含めた活発なスポーツ活動を支援してまいります。



文化の伝承・振興 については、町民が文化芸術活動を主体的に行い、生活の中で潤いと安らぎを持ち、生きがいとして活動ができるよう、個人や団体への支援に努め、日々の創作活動の成果を発表する機会としている、総合文化祭を地域文化活動の集大成と位置づけ開催してまいります。

また、寿都町歴史文化基本構想に基づき、歴史文化資産の保存活用を行うとともに、指定文化財である漁場建築佐藤家の詳細な調査を行い、史跡としての保存活用を検討するとともに、歴史的建造物である橋本家の公開に向け、教育や観光等への活用を図り、歴史を活かしたまちづくりを推進してまいります。



生涯学習環境の整備 については、生涯学習施設である学校施設や総合文化センターなどの社会教育・社会体育施設は、経年による更新を計画的に検討しながら改修を行いさまざまな学習機会を提供してまいります。

また、総合文化センター図書室を読書環境の拠点とし、小・中学校への移動図書等を行い、子どもの読書習慣の定着を図るとともに、町民ニーズにあった蔵書を確保してまいります。

令和3年度寿都町予算

一般会計歳入歳出55億700万円

令和3年度一般会計の予算規模は55億700万円で、前年比6.3%の増加となっています。

また、一般会計と特別会計を合わせた総額は、65億9,940万円で前年比2.1%の増加となっています。

簡易水道事業特別会計及び公共下水道事業特別会計については、令和3年度から公営企業会計へ移行するため、特別会計には計上されません。

(単位：千円・%)

会計区分	令和3年度	令和2年度	差引	伸率
一般会計	5,507,000	5,182,000	325,000	6.3
特別会計				
国民健康保険事業特別会計	599,300	388,600	210,700	54.2
後期高齢者医療特別会計	55,500	51,700	3,800	7.4
介護保険事業特別会計	437,600	457,400	△19,800	△4.3
簡易水道事業特別会計	-	185,900	△185,900	皆減
公共下水道事業特別会計	-	197,300	△197,300	皆減
計	6,599,400	6,462,900	136,500	2.1
簡易水道事業会計	163,265	-	163,265	皆増
うち収益的支出(減価償却費を含む)	116,140	-	116,140	皆増
うち資本的支出	47,125	-	47,125	皆増
公共下水道事業会計	341,791	-	341,791	皆増
うち収益的支出(減価償却費を含む)	203,174	-	203,174	皆増
うち資本的支出	138,617	-	138,617	皆増
風力発電事業会計	1,821,301	644,890	1,176,411	182.4
うち収益的支出(減価償却費を含む)	410,745	451,275	△40,530	△9.0
うち資本的支出	1,410,556	193,615	1,216,941	628.5

歳入の主な内容(一般会計)

(単位：千円・%)

区分	令和3年度		令和2年度		差引	伸率
	予算額	比率	予算額	比率		
自主財源						
町税	218,194	4.0	220,103	4.2	△1,909	△0.9
使用料・手数料	71,534	1.3	70,547	1.4	987	1.4
繰入金	231,131	4.2	744,526	14.4	△513,395	△69.0
諸収入	238,948	4.3	237,563	4.6	1,385	0.6
寄附金	1,000,006	18.2	1,000,006	19.3	0	0.0
その他	34,091	0.6	32,196	0.6	1,895	5.9
小計	1,793,904	32.6	2,304,941	44.5	△511,037	△22.2
依存財源						
地方交付税	1,670,000	30.3	1,712,000	33.0	△42,000	△2.5
国・道支出金	1,379,950	25.1	375,463	7.2	1,004,487	267.5
町債	564,900	10.3	683,400	13.2	△118,500	△17.3
その他	98,246	1.7	106,196	2.1	△7,950	△7.5
小計	3,713,096	67.4	2,877,059	55.5	836,037	29.1
合計	5,507,000	100.0	5,182,000	100.0	325,000	6.3

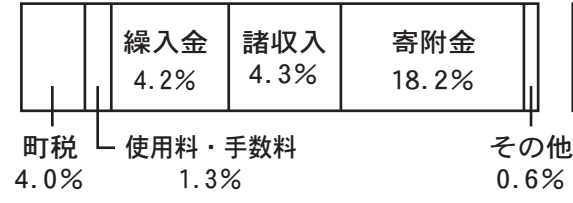
自主財源について

繰入金が前年比69.0%減少しているのは、ふるさと振興基金等の基金繰入が約5億1,400万円減少したものです。

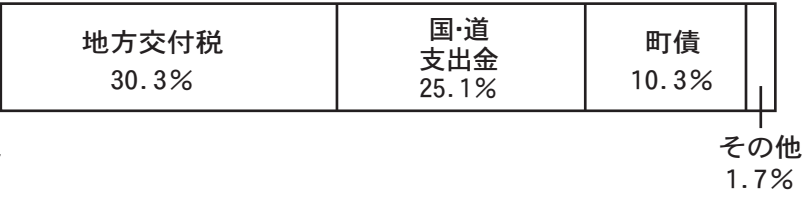
依存財源について

国・道支出金については、電源立地地域対策交付金が交付されるため、約10億円が増加しています。

自主財源 32.6%



依存財源 67.4%



●自主財源●

町税：町民税、固定資産税及び軽自動車税など。
使用料及び手数料：公営住宅使用料及び戸籍手数料など。
繰入金：各種基金の取崩しなど。

●依存財源●

地方交付税：国が徴収した所得税、酒税及び消費税などの一定割合の額を、地方自治体に一定の行政水準を維持するために交付される。
国・道支出金：国や北海道が交付する負担金や補助金など。
町債：公共施設を整備するために借り入れる資金。

歳出 性質別内訳 (単位：千円・%)

区分	予算額	構成比率	
経常的経費			
人件費	655,932	11.9	
物件費	1,121,392	20.4	
維持補修費	108,424	2.1	
扶助費	206,287	3.7	
補助費等	772,019	14.0	
公債費	650,774	11.8	
投資的経費	普通建設費	679,549	12.3
その他経費	積立金等	901,519	16.3
	繰出金	411,104	7.5
計	5,507,000	100.0	

経常的経費	63.9%	35億1,483万円
投資的経費	12.3%	6億7,955万円
その他経費	23.8%	13億1,262万円

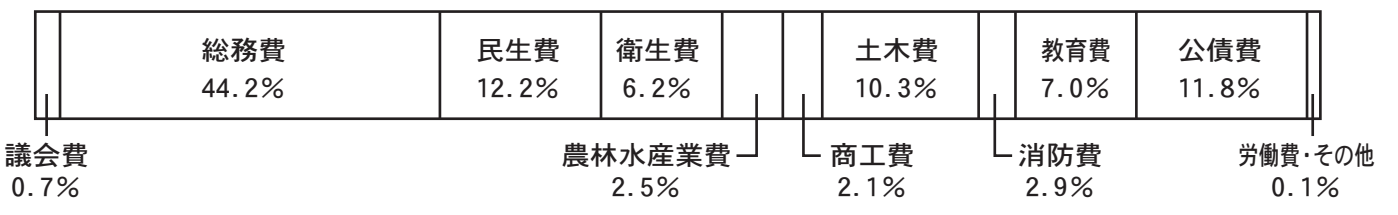
令和3年度の主な事業

令和3年度の主な事業は、旧法務局庁舎を改修し令和5年度開始を予定している「移住促進センター整備事業」、通学路整備の「裁判所中学校通り線整備事業」、教育環境をより良くするために中学校校舎の整備を行う「中学校大規模改修工事」などを予定しています。

歳出の主な内容(一般会計)

(単位：千円・%)

区分	令和3年度		令和2年度		差引	伸率
	予算額	比率	予算額	比率		
議会費	38,863	0.7	42,063	0.8	△3,200	△7.6
総務費	2,432,061	44.2	1,922,976	37.1	509,085	26.5
民生費	670,553	12.2	531,633	10.3	138,920	26.1
衛生費	351,877	6.2	885,162	17.1	△533,285	△60.2
農林水産業費	138,631	2.5	100,745	1.9	37,886	37.6
商工費	114,443	2.1	91,146	1.8	23,297	25.6
土木費	566,141	10.3	390,867	7.5	175,274	44.8
消防費	157,253	2.9	162,351	3.1	△5,098	△3.1
教育費	383,329	7.0	408,972	7.9	△25,643	△6.3
公債費	650,774	11.8	643,016	12.4	7,758	1.2
労働費・その他	3,075	0.1	3,069	0.1	6	0.2
合計	5,507,000	100.0	5,182,000	100.0	325,000	6.3



国民健康保険事業特別会計の主な内容

国民健康保険事業特別会計は、令和3年度から町立寿都診療所が国民健康保険診療所(国保直診)になり、一般会計から関連事業費が組み替えになることから54.2%の増加となっております。

主な事業ごとの予算額及び財源内訳などをまとめた「令和3年度寿都町予算のあらまし」を役場庁舎ロビー又は総合文化センターに設置しています。また、希望される方にはお届けするほか、町公式ホームページにも掲載しています。

みんなの診療所 No.162

国保直診化にあたって



所長 今江 章宏

この度、寿都診療所は祁答院先生をお迎えし、国民健康保険診療所（国保直診）として新たなスタートをきりました。とはいえ、診療所が地域で担う役割や目指す医療はまったく変わりありません。これまで通り「地域の身近なかかりつけ医療機関」として、外来・入院・訪問医療・救急医療を幅広く行い、他の専門科や高次医療機関とも密接に連携しながら、地域医療をしっかりと担ってまいります。

また、祁答院先生には、寿都医師会の会長として引き続き寿都・黒松内・島牧3町村の医療連携の充実にご尽力いただきます。祁答院医院に通院されていた皆さまにおかれましては、薬の処方の変更など運用の違いが一部生じますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症流行もあいまって、人間関係の希薄化や生活様式の変化などさまざまな課題が多い昨今の情勢ではありますが、寿都診療所は地域のかかりつけ医療機関として大先輩にあたる祁答院医院の意思を引継ぎ、病気だけではなく人を診る、人間関係を重視した温かみのある医療を職員一丸となってこれからも目指してまいります。まだまだ至らない点もあるかと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。



医師(寿都医師会長)
祁答院尚嗣

この度、祁答院医院を閉院し寿都診療所で働くことになりました。今まで、祁答院医院を利用していただいた皆さまには心より感謝申し上げます。

祁答院医院は、私の祖父がこの地に来て100年以上、父が今の場所に祁答院医院を建てて50年以上、そして私がここに戻ってきて約20年が経ちました。以前より、町から医療体制の合併のお話はいただいておりましたが、父から受け継いだ医院を閉院することに、なかなか踏ん切りがつかせませんでした。しかし、人口減少に伴う地域の変化や今後の状況を考えた結果、今回の結論に至りました。

これからも、寿都診療所で今江先生、堂坂先生、医療スタッフとともに地域の医療を守っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

●着任挨拶●



医師 勝俣 元都

初めまして。神奈川県出身で、北海道大学卒業後、帯広で研修し、昨年度は東京で勤務しておりました。慣れ親しんだ北海道でまた勤務させていただけることを大変嬉しく思います。診療だけではなく、寿都町での生活も楽しみにしております。

地域の皆さまのお役に立てる存在になれるよう精進いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

ゴールデンウィークの休診は 5月1日(土)から5日(水)までです



5月6日(木)から通常診療を開始します。なお、休診中も急患の受け入れをしていますので、来院前に必ず電話でのご連絡をお願いします。また、定期受診されている方は、薬の不足がないか事前に確認をお願いします。



赤ちゃんから お年寄りまで

寿都町教育委員会
電話 0136-62-2100
FAX 0136-62-2280

みんなが、学びの主人公

スポーツ表彰式

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため、今年度の寿都町スポーツ表彰式は中止しました。受賞された皆さまへ敬意を表しますとともに、各賞の功績をご紹介します。今後ますますのご活躍をご祈念いたします。

スポーツ優秀賞



工藤 颯太
(寿都小6年)

第19回北海道小学生地区対抗
バドミントン選手権大会 兼
第29回全国小学生バドミントン
選手権大会南・北北海道地区
予選会男子団体 3位 他

スポーツ奨励賞

《個人》

- 岩戸 麗奈 (寿都小5年)
第34回小樽地区バドミントン選手権大会
小学5年生女子ダブルス 3位
- 米澤 芽唯 (寿都小5年)
第34回小樽地区バドミントン選手権大会
小学5年生女子ダブルス 3位
- 磯谷 優梨菜 (寿都高2年)
第25回小樽支部高等学校秋季テニス大会
女子シングルス 準優勝 他
- 三上 幸来 (寿都高2年)
第25回小樽支部高等学校秋季テニス大会
女子ダブルス 準優勝

《団体》

- 寿都野球スポーツ少年団
第27回寿都町長杯争奪 兼 第11回
寿都ライオンズクラブカップ地域交流 兼
地域安全少年野球大会 優勝 他
- 寿都中学校卓球部
第48回後志少年少女卓球大会
女子団体戦 優勝
- 寿都高等学校バドミントン部女子団体
第68回小樽地区高校秋季バドミントン
選手権大会女子団体戦 3位

敬称略、学年は3月現在

「みんなでラジオ体操」を開催します！

ラジオ体操認定指導員の指導のもと「みんなでラジオ体操」を開催します。ラジオ体操は、誰でも気軽に取り組むことができ、正しい動作で行うことにより効果的な運動となります。

みんなで楽しく汗をかいて、心も体も元気になりませんか。お気軽にお越しください。

日 時：4月19日(月)、26日(月)
午後7時15分～午後8時15分
場 所：総合体育館
持ち物：動きやすい服装、運動靴、飲み物

「すつつ湾お宝勉強会」について

「すつつ湾お宝勉強会」は身近にある町の歴史文化資産(寿都のお宝)を見つけ、守り、継承していく活動を行う組織です。

前年度の活動報告として、調査内容をまとめたニュースレターを作成し、折り込みしていますので、ぜひご覧ください。

勉強会では、寿都のお宝を中心にメンバーが興味のあるものに着目して調査を行っています。メンバーの募集も随時行っていますので、興味のある方は、文化推進係までお問い合わせください。

屋外社会体育施設オープン予定日のお知らせ

各施設のオープン予定は右記のとおりです。テニスラケットやパークゴルフクラブなどの貸し出しも行っていきますので、ご利用の際は教育委員会窓口へお越しください。

今年度も健康づくりや体力向上のため、ぜひご利用ください。

施設名	オープン予定日
ウィズコム広場 テニスコート	4月10日(土)
浜中パークゴルフ場	4月26日(月)
風太公園ソフトボール場 多目的広場	4月17日(土)

石澤副議長が全国町村議会議長会自治功労賞を受賞

石澤洋二副議長が町村議会議員在職27年以上の方に贈られる全国町村議会議長会自治功労賞を受賞されました。

石澤副議長は、平成5年10月に寿都町議会議員に初当選以来、永年にわたり職務に精励され、多岐にわたる見識を活かし、本町の発展のため、建設的な意見をもって議会活動にあたられ、生活基盤の整備など町政に反映させてきました。

また、平成27年10月からは議会副議長を務められ、町議会の円滑な運営にあたられています。

この度の受賞おめでとうございます。



小鷹定幸さんが 100歳を迎えました

小鷹定幸さん(政泊町弁慶)が2月20日に100歳の誕生日を迎えられ、寿都町長寿者褒賞条例に基づき、お祝いの褒状と副賞が贈られました。

入所されている寿都寿海荘で贈呈式が行われ、「こんなに長生きするとは思わなかったです」とお祝いの褒状を元気に受け取られました。



困ったら一人で悩まず 行政相談委員へ

令和3年4月1日付けで、成田幸隆さんが総務大臣から行政相談委員に委嘱(再)されました。



成田 幸隆 さん

住所 寿都町字湯別町上湯別26番地5

電話 0136-64-5533

行政相談委員は、国民と行政の架け橋として、国道の整備や年金制度についてなど、国の制度の身近な問題に関する意見や要望を受け付け、解決を促進する仕事を行っています。

相談は、無料で秘密も守られます。お気軽にご相談ください。



寿都高校卒業式(3/1)



寿都中学校卒業式(3/15)



潮路小学校卒業式(3/19)



寿都小学校卒業式(3/19)



寿都保育園卒園式(3/23)

寿都町ふるさと大使

寿都町の魅力を
全国にPR!

町では、全国に向けて寿都町の魅力を発信し、知名度の向上と観光振興の推進など、町のさらなる活性化を目的とした「寿都町ふるさと大使制度」を平成24年から創設しています。

寿都町ふるさと大使制度は、本町に愛着を持ちながら文化・経済・スポーツなど各界で活躍している本町の出身者もしくはゆかりのある方を「ふるさと大使」に任命し、町が提供する名刺や観光パンフレット、広報誌などを用いて自身が活躍する場で本町の観光情報などをPRしていただく制度です。

現在、本町のふるさと大使は、漫画家の本庄敬さん、フリーアナウンサーの板倉糸栄さん、歌手の松谷淳さんの3名に委任しています。

さまざまな分野で活動されているお三方のより一層のご活躍を期待しています。

●応援大使プロフィール●



ほんじょう けい
本庄 敬さん

1986年に第32回手塚賞で準入选し、漫画家としてデビュー。料理や自然を題材とした「蒼太の包丁」「ハルの着」「SEED」などの代表作がある。本町のマスコットキャラクター「風太くん」をデザインしたこともおなじみ。

漫画の作中に寿都町を登場させ、PR活動を行っている。現在は、「俺流! 絶品めし(ぶんか社)」において「新・蒼太の包丁」を連載中。

<メッセージ>

故郷を離れて40年、いまだ忘れがたく思っています。これからも応援よろしくをお願いします。



いたくら いとえ
板倉 糸栄さん(旧姓:南波)

2004年からタレント活動をスタート。メインMCやナレーター、お天気キャスターなど、フリーアナウンサーとして首都圏のローカル番組などで活躍。

SNSで寿都町を紹介しているほか、仕事や番組出演の際、寿都町の特産品やエピソードなどを話している。

現在は、化粧品のイメージモデルや「Mrs Asia Supreme Pageantグランドチャンピオン」として活動中。

<メッセージ>

寿都を離れて20年以上が経ちました。今、故郷があるということがどんなに大切なものかを実感しています。寿都の素晴らしい自然と、心温かな町民の方々と過ごした日々は、私の人間形成において大きな部分をしています。「私の故郷は、こんなにも美しく、美味しい食べ物にも恵まれています!」とこれからも世界中の人に伝えていきたいです。



まつたに じゅん
松谷 淳さん

バンド活動を経て、ソロ活動へと転身し、STVカラオケ大会で優勝を飾る。

2012年にファーストシングル、「私の願い/POWER OF PRIDE」でデビュー。

現在は、歌手・ラジオパーソナリティとして活躍中。

<メッセージ>

寿都町のイベント情報などを随時発信していきます。これからも応援よろしくをお願いします。

昨年発売した「伝えられない気持ち」は安全地帯ギター武沢侑昂さんにプロデュースして貰い安全地帯の歌も公認カバーしております。

「伝えられない気持ち」のPVは寿都町HPのPR動画となっております。CDは町内では道の駅とゆべつのゆにて販売中です。



●本庄敬先生による寿都人プロジェクト●

本庄敬先生による、寿都人(すつぷいと)プロジェクトをご紹介します。

寿都町を愛する皆さまと故郷に暮らす人達の元気を『マンガのチカラ』で応援するプロジェクトで、寿都町マスコットキャラクターの風太を中心とする漫画・イラストをあしらったグッズ企画などを行っています。

風太のかわいいイラストがアクセントのTシャツ(キッズサイズ有)、スウェット、マグカップなどのオリジナルグッズを製作、インターネットにて販売しています。新たなグッズで寿都町の応援をよろしくをお願いします。



©本庄敬



人口 2,885人 (+7) 世帯数 1,648世帯 (+4)
 男 1,413人 (+5) 女 1,472人 (+2)
 (令和3年2月末現在住民基本台帳)

～こんにちは よろしくね～

渡島町 秋保 仁也^{じんや}くん (2/25)
 政宗さん・愛咲美さんの子

～ごめいふくを お祈りします～

六条町 亀谷 憲昭さん (3/4) 77歳
 樽岸町樽岸 加藤キ又了さん (3/17) 92歳
 磯谷町島古丹 五十嵐亭子さん (3/19) 96歳
 新栄町 佐藤 桂子さん (3/24) 101歳
 大磯町 吉田 茂さん (3/26) 98歳

ご寄附 ありがとうございます

寿都地区プレジャーボート協議会 (新栄町)

会長 梶 雅之 様

水産振興寄附金として 30,000円

株式会社吉本組 (岩内町)

代表取締役社長 吉本 貴昭 様

水産振興寄附金として 1,000,000円

全町民・海岸クリーン大作戦「中止」のお知らせ

例年4月に開催しております全町民・海岸クリーン大作戦は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止することといたしました。

参加を予定されていた皆さまには、ご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

高齢者肺炎球菌ワクチン接種の実施について

■対象者

- ・接種日において65歳以上の方で、今までに一度も接種したことのない方
- ・平成27年までに1回目の接種をした方

■接種期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日
 ※期間中は随時受付しており、申込受付後、予診票を送付します。

■接種医療機関

寿都診療所 電話 0136-62-2411

■接種料金 (自己負担)

1回目 3,500円
 2回目 課税世帯 ⇒ 4,000円
 生活保護及び非課税世帯 ⇒ 2,000円
 (※通常接種料金 1回: 7,000円)

■申込先

町民課健康づくり係 電話 0136-62-2513

短歌

真夜中も呼べばすぐにかけつける
 愛情あふる介護受くる夜
 前浜の大謀網の浮き玉の
 波間漂う夢の膨らむ
 看護師の資格を得たと甥の声
 母亡きあとも君強く生き
 日ハムの開幕前に夢乗せて
 今年こそはと我を励まし
 (老人クラブ短歌)
 わが人生戦前戦後と平和願
 終末コロナでいつ果てるやら
 古毛系認知によかれと編棒を
 夢えがきつつせせと運ぶ
 はまなす会月に一度の「そば処」
 みんな元気な車中
 世は変りネット社会の便利さに
 やさしき声は誠の声か
 お日様の長く伸びる午後の居間
 幸せ描くお茶の一口
 マスクして言葉かけられわからず
 会ふ度にただ今日わ

俳句

僅かな餌見つけ友呼ぶ寒雀
 浮き玉の春の聴く波間かな
 三度目の圧迫骨折春遠く
 クロッカス可憐な片に日の集う
 枝川の浅瀬にたむろ春の鳥
 落列ればシユヤツと音して碧い水
 (老人クラブ俳句)
 吹雪く日もまる元体操和やかに
 猫柳供えし般若彼岸入り
 希望とは春に生るる宝物
 白雲に春風なびく海辺かな
 春陽さし眠けをさそふ波の音
 月越や裾野影濃し雪の峰
 枝にのりつららの雫吸ふ小鳥

天間ときこ	松沢	鷹島	千引	青木	佐藤	富樫	山本	遠藤	亀谷	志田	中村	石橋
天間ときこ	松沢	鷹島	千引	青木	佐藤	富樫	山本	遠藤	亀谷	志田	中村	石橋
スミ	サツ	静江	文子	幸男	トシ	喜彦	紀子	セツ	妙子	昭風	典子	典子
スミ	サツ	静江	文子	幸男	トシ	喜彦	紀子	セツ	妙子	昭風	典子	典子

